

## 先進医療給付金の「医療機関宛直接支払サービス」の開始について

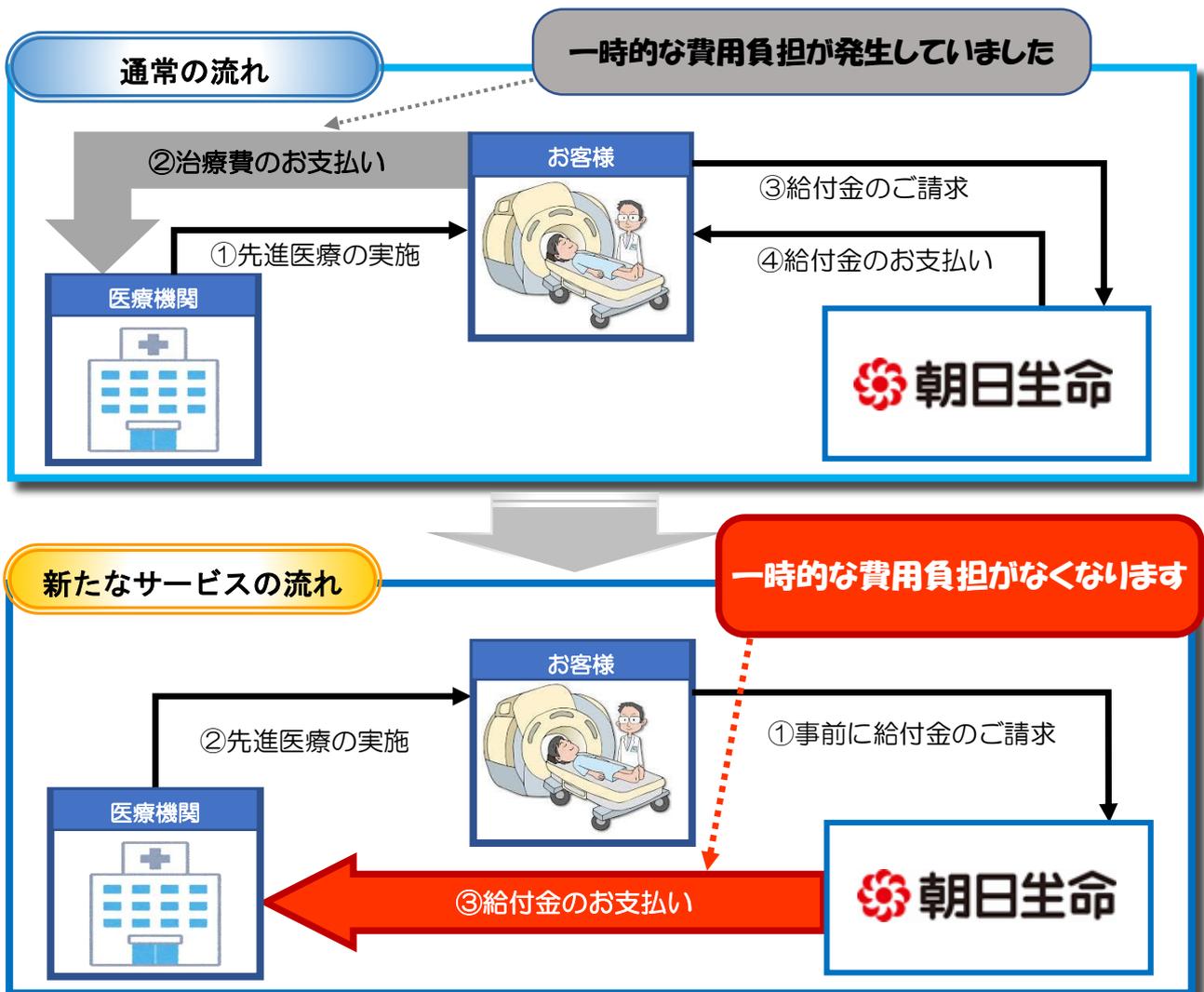
朝日生命保険相互会社（代表取締役社長：木村博紀）は、平成 29 年 7 月 3 日より、「先進医療給付金」を医療機関へ直接お支払いする「医療機関宛直接支払サービス」を開始いたします。

これにより、技術料が全額自己負担となる先進医療の中で、とりわけ高額となる陽子線治療および重粒子線治療について、お客様ご自身による費用のご準備や医療機関への送金手続きなどの負担が軽減されます。

現在、陽子線治療および重粒子線治療を行う日本国内すべての医療機関（16 医療機関）において、ご利用いただけます。

朝日生命では、今後もお客様にご満足いただけるよう、幅広くサービスの向上に努めてまいります。

### 【サービスの概要】



## 1

## 背景

公的医療保険制度の給付対象とならない先進医療は、一般に保険診療の場合と比べて費用が高額となることもあり、特に陽子線治療および重粒子線治療については、1件あたりの費用が平均約292万円(※)とおお客様がご準備するにあたり相当な負担のかかる治療費が必要となっています。

(※) 厚生労働省「第49回先進医療会議 平成28年度実績報告資料」より試算

これまでの「先進医療給付金」のご請求やお支払方法では、治療費の支払期日までにお払込みが間に合わない場合もあり、おお客様が治療費を一時的にご負担していただくことがありました。

そこで、当社では、陽子線治療および重粒子線治療について、一時的な経済的負担やお支払手続きを軽減し、おお客様が安心して治療に専念いただけるよう、「先進医療給付金」を治療された医療機関へ直接お支払いできるようにいたします。

## 2

## サービスの取扱いについて

- ・ 当社の「先進医療特約」「引受基準緩和型先進医療特約」「先進医療特約S」「引受基準緩和型先進医療特約S」「団体医療保険用先進医療特約」にご加入のおお客様で、『別表』の医療機関において陽子線治療および重粒子線治療を受療される場合に本サービスのご利用が可能です。
- ・ 陽子線治療および重粒子線治療を行う日本国内すべての医療機関(平成29年6月29日時点 16医療機関)でご利用いただけます。
- ・ なお、ご利用にあたっては一定の条件がございますので、治療前に当社にお問い合わせいただく必要があります。
- ・ 本サービスのご利用は任意となりますので、「先進医療給付金」をおお客様がお受け取りいただく方法も選択できます。

以上

## 【参考】

	年間実施件数 (件) <平成27年7月1日~平成28年6月30日>	1件あたりの平均費用 (円)
陽子線治療	2,016	2,760,022
重粒子線治療	1,787	3,093,057

※厚生労働省「第49回先進医療会議 平成28年度実績報告資料」より

別表

サービス対象の医療機関一覧

平成 29 年 6 月 29 日現在

先進医療 技術名	所在地	医療機関名称
陽子線 治療	北海道札幌市	北海道大学病院陽子線治療センター
	北海道札幌市	札幌禎心会病院
	福島県郡山市	南東北がん陽子線治療センター
	茨城県つくば市	筑波大学附属病院陽子線治療センター
	千葉県柏市	国立がん研究センター東病院
	福井県福井市	福井県立病院陽子線がん治療センター
	静岡県駿東郡	静岡県立静岡がんセンター
	長野県松本市	相澤病院陽子線治療センター
	愛知県名古屋市	名古屋市立西部医療センター 陽子線治療センター
	兵庫県たつの市	兵庫県立粒子線医療センター
	岡山県津山市	岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター
	鹿児島県指宿市	メディポリス国際陽子線治療センター
重粒子線 治療	群馬県前橋市	群馬大学重粒子線医学研究センター
	千葉県千葉市	放射線医学総合研究所病院
	神奈川県横浜市	神奈川県立がんセンター
	兵庫県たつの市	兵庫県立粒子線医療センター
	佐賀県鳥栖市	九州国際重粒子線がん治療センター